

まちづくりワークショップ
区ビジョン点検シート

【1】区の将来像

都市と農村が共生する、
うるおいの居住環境と優れた学術環境に
育まれるまち

【2】区の担う役割

◎都市部と農村部が一体となっている区の特性を生かし、都市と農村の相互交流を推進し、田園型政令市のパイロット役を担います。

◎新潟大学、新潟国際情報大学など、多数の学術研究機関が立地していることから、研究開発機能の中核拠点としての役割を担います。

◎佐潟・海岸など、豊かな自然環境と幹線道路・鉄道などの交通の利便性の両方を併せもつ地域の特性を活かし、環境に配慮し、自然を満喫できる憩いの場を提供する機能を担うとともに、快適な居住機能を担います。

◎利便性の高い交通網を活かし、流通関連機能を担います。

【3】目指す区の姿

- 《すべての区民にやさしいまち》
- 《都市と農村が共存するまち》
- 《学術と文化のまち》
- 《海辺とラムサールのまち》
- 《優れた居住環境のまち》
- 《西区新庁舎の整備》

【4】まちづくりに向けた施策の方向

No.	目標	これまでの取り組みの検証結果	
		これまでの取り組み	成果・課題
①	すべての区民にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・区民が協力し合い、障がい者や高齢者なども社会参加できる、人にやさしい福祉に配慮したまちづくりを進めました。 ・子どもたちの安全を守り、健やかな心を育てる環境づくりを進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決のため区自治協議会との協働を推進しました。また、地域コミュニティ協議会等に活動のための補助金を交付しました。 【課題】自治の深化に伴う自治協・コミ協の役割 ・地域で子育てを支援する「親子の居場所」を立ち上げてきました。(H25年12月末、8か所) 【課題】コミ協単位に設置
②	都市と農村の共存	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産農産物の消費拡大と食育の推進を図りました。また都市部と農村部の交流を進め、相互理解を深めました。 ・西区の特産物の振興とPRに努めブランド化を図りました。 ・地場産農産物を使った加工食品の開発や、商店街の活性化による商工業の振興に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝市や農業まつりに毎年大勢の区民が参加し、都市と農村の交流が活発化しました。 ・平成23年度から区内全小学3年生が生産現場で収穫体験を行い、食べ物大切さ、生産者への感謝の心を育みました。 【課題】西区内での食・農・自然に対する学習の場づくり 【課題】旧市街地の商店街の活性化
③	学術と文化のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の大学との連携を推進し、学官と地域住民が一体となった生涯学習活動を進めました。 ・埋蔵文化財センターや民俗資料施設を整備し、文化財を集約した空間を創造しました。 ・地域コミュニティ協議会、学校、社会教育団体及び住民と連携した教育活動を推進しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の大学と連携した24事業を実施しました。特に「西区アートプロジェクト」には毎年大勢の区民が参加しています。 ・文化財センター(まいぶんポート)が平成23年7月にオープンし、考古学資料や民具に触れられる学びの施設として親しまれています。 ・地域教育コーディネーターを区内の小中学校に配置し、学校と地域のネットワークが構築されました。 【課題】小中学校の適正配置の検討
④	自然環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の汚濁防止や水害対策、海岸浸食の防止対策を実施するとともに、保安林の機能増進を図りました。 ・佐潟の自然環境保全と活用を図るとともに、各種調査や市民啓発を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林の保全は県事業ですが、地域ごとに森林ボランティアを育成しました。また、無人へりによる松くい虫の駆除は効果が有りました。 ・佐潟水鳥・湿地センターで、佐潟いきもの展やエコツアーなど様々な企画を実施し、佐潟が区の宝として認知されました。また、ボランティアガイドの養成も実施し、多くのガイドが活動しています。 【課題】佐潟の自然保護のあり方(人の手を加えること)
⑤	快適な住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・黒埼地区の運動公園整備や赤塚埋め立て処分跡地を利用した公園整備を行いました。 ・区民との協働による地域の防災力を推進しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒埼地区の「みどりと森の運動公園」が平成23年に完成しました。 ・コミ協や自治会等に花苗などを配布し、区民と一体となった緑豊かなまちづくりが進みました。 ・地域と区役所合同による防災訓練を隔年で実施し、地域の防災意識が向上しました。 【課題】津波浸水想定地域における防災力強化に向けた緊急的な対策(地域ごとの避難マップの作成等)
⑥	交通の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路、生活道路、公共交通の利用環境を整備しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟交通電鉄跡地については自転車歩行者道路として整備を進め、一部(関屋大橋～大堀幹線)は利用可能となりました。 【課題】着工に向け、引き続き地元や警察などとの調整 ・適切な除雪の実施と自治会除雪助成制度の改善を図りました。 ・JR越後線増便や住民バス増便などの社会実験等を行いました。 【課題】実験の本格化、バス路線再編計画・生活交通改善策の検討
⑦	西区新庁舎の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・西区の施策推進のため、機能的な新庁舎を新築・整備しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協をはじめ多くの区民の皆さまからのご協力を得て整備した新庁舎が、平成26年1月14日にオープンしました。